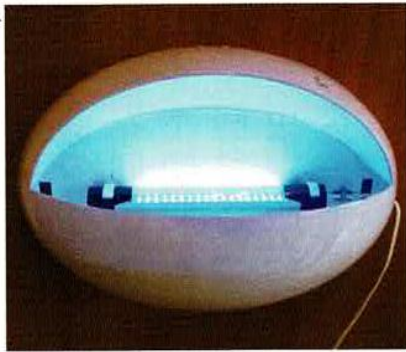


屋内に設置するLED捕虫器

カネヒロデンシが2種類発売

LED照明機器等の開発・製造・販売を手掛ける(株)カネヒロデンシ(三原市久井町坂井原5805-1、竹田昭典社長)は先月、屋内に設置するLED捕虫器「MU439(ムシサンキュウ)」を2種類発売した。



「壁面取付け用」Ⅱ写真上Ⅱは、紫外線372ナノメートルから青・緑・黄色・赤まで発光することにより、ハネアリやハエ、カ

メムシ等多種類の虫に対応できる。従来の蛍光灯に比べて約5倍の長寿命化を実現し、消費電力量(約6ワット)は70%削減。内部粘着シートの交換も簡単で、捕獲した虫が見えにくく不快感が無い。カバーはプラスチックを使用しており、洗浄も容易で衛生的。インテリア風に仕上げたデザインのため、各種工場をはじめ飲食店や宿泊施設、一般家庭まで、様々な施設のあらゆる場所に違和感なく設置できる。サイズは幅320ミリメートル×高さ260ミリメートル×奥行153ミリメートルで、重量は500グラム。発売から2週間で、当初の見込みを上回る10

0台の受注があった。今年中に3000台、来年は年間で1万台の販売を目指す。多くの台数を要する大規模工場等には、レンタルでも対応する。



「施設園芸用」Ⅱ同下Ⅱは、全国で植物育成LEDの納入実績を積み重ねている同社が、農業事業者向けに開発した製品。虫が発生しやすい場所ということを踏まえ、カバーは使い捨ての紙箱を使用する。

竹田社長は「虫のお悩みは、場所や業種を問わず共通。LEDを活用した当社の技術、開発力でお役に立ちたい」と話している。問合せ電話0847-32-6248。